

平成28年度
港湾空港局予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

1 平成28年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度港湾空港局予算要求総括表

【一般会計】

平成28年度要求総額	6,489,311千円
〔平成27年度予算額	45,817,778千円〕
うち第三セクター等改革推進債	41,416,000千円
前年度比 ▲85.8%	第三セクター等改革推進債を除くと+47.4%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
響灘及び新門司埋立地整備等事業 ※1	221,156	0	221,156
響灘東地区処分場整備事業	1,698,750	52,500	1,646,250
海岸(高潮)事業	57,400	65,000	▲7,600
砂津緑地整備事業	73,000	100,400	▲27,400
国直轄事業負担金	1,693,500	1,872,000	▲178,500
奥洞海航路浚渫事業	108,000	48,000	60,000
その他	635,977	681,268	▲45,291
【投資的経費 合計】	4,487,783	2,819,168	1,668,615
国際RORO航路誘致事業	10,000	13,200	▲3,200
響灘洋上風力発電拠点化推進事業	10,000	10,000	0
港湾施設保安対策事業	216,046	207,895	8,151
クルーズ客船誘致事業	15,179	7,714	7,465
港湾施設保全事業	205,661	220,745	▲15,084
北九州空港航空貨物拠点化事業	187,450	179,324	8,126
北九州空港路線誘致事業	190,520	78,144	112,376
北九州空港アクセス推進事業	227,600	218,500	9,100
第三セクター等改革推進債	0	41,416,000	▲41,416,000
その他	939,072	647,088	291,984
【行政的経費合計】 (第三セクター等改革推進債を除く額)	2,001,528	42,998,610 (1,582,610)	▲40,997,082 (418,918)

※1 平成27年度は、港湾整備特別会計及び埋立地造成特別会計で205,420千円計上

【港湾整備特別会計】

平成28年度要求総額 5,144,675千円
 (平成27年度予算額 5,619,000千円)
 前年度比 ▲8.4%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額(A)	平成27年度 予算額(B)	増減 (A-B)
新門司埋立地造成事業	0	26,646	▲26,646
響灘東埋立地整備事業	0	13,000	▲13,000
公共上屋長期維持保全工 事事業	313,920	118,200	195,720
国有地取得事業	336,570	0	336,570
公債償還に係る経費	2,915,607	3,961,006	▲1,045,399

【空港関連用地整備特別会計】

平成28年度要求総額 4,700千円
 (平成27年度予算額 3,600千円)
 前年度比 +30.6%

【臨海部産業用地貸付特別会計】

平成28年度要求総額 445,600千円
 (平成27年度予算額 429,600千円)
 前年度比 +3.7%

【市民太陽光発電所特別会計】

平成28年度要求総額 79,712千円
 (平成27年度予算額 73,100千円)
 前年度比 +9.0%

【埋立地造成特別会計】

平成28年度要求総額 0千円
 (平成27年度予算額 44,739,000千円)
 前年度比 皆減

(2) 平成28年度港湾空港局経営方針

港湾空港局は、「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進！北九州」プランの推進を図るとともに、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策を着実に実行していきます。

① **北九州港** ～ 競争力のある港づくりの推進

ア 更なる物流拠点化の推進

東九州自動車道の開通やフェリーの大型化など、本市の物流拠点都市としての優位性が向上することを好機ととらえ、「更なる物流拠点化」を進めます。

イ 北九州港の利用促進（航路網の充実など）

戦略的なインセンティブなどにより近隣港からの利用転換を図ります。ひびきコンテナターミナルについては、バイオマス燃料基地などの整備を進め、コンテナ以外の利用も含めた利活用促進を図ります。

ウ 風力発電関連産業の総合拠点の形成

風力発電関連産業は裾野が広く、2万点に及ぶ部品を扱うための物流拠点や部品工場のほか、実証実験やトレーニング施設の立地も期待できるため、響灘地区における風力発電関連産業の総合拠点形成を目指します。

エ 市民生活を守る港づくり、港の賑わいづくり

響灘東地区処分場を整備するほか、海岸（高潮）事業などにより、災害に強く、いつも安全で、市民生活や企業活動を支える港づくりを目指します。また、市民が気軽に海辺を親しめる事業やクルーズ客船の誘致などに取り組みます。

オ 港湾施設の整備・効果的かつ効率的な維持管理

港湾施設（岸壁・防波堤等）は、市民生活や企業活動を支えている重要なインフラです。必要な施設整備を行うとともに、老朽化に対する効果的かつ効率的な維持管理を行います。

② **北九州空港** ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、北九州空港の24時間空港のポテンシャルと、後背圏のものづくりの集積を活かし、物流・交流・産業に関する3つの将来像を実現することにより、空港及び周辺地域が相互に発展する好循環を目指します。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進

ア 更なる物流拠点化の推進

V-2・継続 北九州港集貨航路誘致事業 66,870 千円

国内外の船会社、荷主企業等に対する企業訪問やプロモーション活動等に取り組み、北九州港の利用促進を図ります。

V-2・継続 国際RORO航路誘致事業 10,000 千円

自動車部品輸入などのシームレス物流や完成自動車輸出のために必要な国際RORO航路を誘致し、モータープールの開設・拡大など臨海部における自動車関連産業の物流拠点の形成を図ります。

IV-1・継続 企業誘致活動事業 8,710 千円

臨海部産業用地において、環境・エネルギー産業や自動車関連産業、物流関連産業の集積を目指し、企業誘致を進めます。

V-1・継続 新門司埋立地造成事業 111,945 千円

新門司地区において、企業立地にあわせて必要なインフラ整備を行います。

イ 北九州港の利用促進（航路網の充実など）

V-2・継続 北九州港集貨航路誘致事業（再掲） 66,870 千円

国内外の船会社、荷主企業等に対する企業訪問やプロモーション活動等に取り組み、北九州港の利用促進を図ります。

V-2・継続 国際RORO航路誘致事業（再掲） 10,000 千円

自動車部品輸入などのシームレス物流や完成自動車輸出のために必要な国際RORO航路を誘致し、モータープールの開設・拡大など臨海部における自動車関連産業の物流拠点の形成を図ります。

IV-1・継続 企業誘致活動事業（再掲） 8,710千円

臨海部産業用地において、環境・エネルギー産業や自動車関連産業、物流関連産業の集積を目指し、企業誘致を進めます。

V-1・継続 響灘埋立地整備事業 109,211千円

響灘地区において、企業立地にあわせて必要なインフラ整備を行います。

ウ 風力発電関連産業の総合拠点の形成

IV-1・継続 響灘洋上風力発電拠点化推進事業 10,000千円

風力発電関連産業の総合拠点に向けて、他の自治体・港で計画されている洋上風力発電事業について、その動向やポテンシャルを調査し響灘との関連性を整理するとともに、響灘地区内での風力発電関連部品についての物流に関する課題等を調査し、今後の産業集積へ向けた検討材料とします。

IV-1・継続 企業誘致活動事業（再掲） 8,710千円

臨海部産業用地において、環境・エネルギー産業や自動車関連産業、物流関連産業の集積を目指し、企業誘致を進めます。

エ 市民生活を守る港づくり、港の賑わいづくり

VI-3・拡充 響灘東地区処分場整備事業 1,698,750千円
(うち拡充分 1,646,250千円)

浚渫土砂や廃棄物を最終的に処理する処分場の整備のため、護岸の細部・実施設計を行うほか、消波ブロックの製作を行います。

II-1・継続 海岸（高潮）事業 57,400千円

災害に強い都市づくりの一環として、臨海部における高潮等の災害から市民の生命や財産を守るために、白野江地区で護岸整備を行います。

V-3・継続 港湾施設保安対策事業 216,046 千円

海上安全条約（SOLAS 条約）に基づき、船舶を利用した国際テロの発生を防止するため、外国貿易に利用される港湾施設の保安対策を実施します。

Ⅲ-1・継続 魅力ある海辺づくりの推進 7,447 千円

市民太陽光発電特会の収益金を活用し、みなとや海辺において様々な活動を行っている市民団体の活動を支援するほか、一般公募による海峡クルージングを実施します。

Ⅲ-1・継続 砂津緑地整備事業 73,000 千円

来訪者が海を眺望できる親水空間を創出し、にぎわいのある海辺づくりを提供することを目的に、新球技場周辺の緑地を整備します。

Ⅲ-1・継続 響灘南緑地整備事業 50,000 千円

響灘東地区のビオトープ南側において、来訪者の利便性向上のため、響灘南緑地の遊歩道を整備します。

Ⅳ-4・継続 北九州港市民PR事業 14,905 千円

広く市民に海・港に親しんでもらい、港の賑わいを創出するため、船舶公開などを開催するほか、北九州港内で開催される花火大会を支援します。

Ⅳ-4・拡充 クルーズ客船誘致事業 15,179 千円
(うち拡充分 7,465 千円)

国内外のコンベンションへの出展やキーパーソンの招へい、代理店や船社への直接営業を通し、クルーズ客船の寄港を促進します。また、客船寄港時にはおもてなしイベント等を展開します。平成 27 年度からは「ひびきコンテナターミナル」でもクルーズ客船の受入れを開始しています。

才 港湾施設の整備・効果的かつ効率的な維持管理

V-2・継続 国直轄事業負担金 1,693,500 千円

国が行う新門司地区の航路・泊地、田野浦地区の岸壁・泊地及び西海岸地区の岸壁の整備について、地元負担を行います。

V-1・継続 港湾施設整備事業（補助） 248,030 千円

岸壁や道路など、老朽化した港湾施設について、適切な改良を加え、有効活用を図るために整備を行います。また、市民が気軽に港や海辺を楽しめる緑地の整備を行います。

V-1・拡充 奥洞海航路浚渫事業 108,000 千円
(うち拡充分 60,000 千円)

奥洞海地区において、航路の航行環境の改善や船舶の大型化に対応するため、航路の浚渫を行い、国際競争力強化を図ります。

V-1・新規 航路泊地浚渫対策事業（拡充分） 40,080 千円

港湾施設の基本となる航路や泊地の維持浚渫を実施することで、施設の性能を確保し、利用船舶の安心・安全な航行環境を確保します。

V-3・継続 港湾施設保全事業 205,661 千円

高度成長期（1960～1970 年代）に整備された岸壁・護岸等は、施設の劣化が進行しています。これらの施設のうち、早急に安全対策が必要となっているものについて、維持・補修を行います。

VI-2・継続 LED 照明等導入事業 10,020 千円

北九州グリーンフロンティアプランの一環として、太刀浦地区の LED 照明灯の導入を推進します。

V-2・継続 太刀浦埠頭用地整備事業 200,000 千円

太刀浦コンテナターミナルのヤード舗装の轍や破損箇所について、舗装補修を行い、荷役作業の安全性の確保と効率の向上を図ります。

V-3・拡充 公共上屋長期維持保全工事事業 313,920 千円
(うち拡充分 195,720 千円)

平成 23 年度から着手した事業で、公共上屋の長寿命化のため、維持補修を計画的・効率的に行います。

(2) 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

空港の将来ビジョンで示した3つの将来像の実現に向け、具体的な取り組みを強かに推進していきます。

(将来像1) 九州・西中国の物流拠点空港

航空貨物便の安定就航のため、集貨促進に一層取り組むとともに、増便、新規路線誘致に向けた取り組みを強化します。

V-2・拡充 北九州空港航空貨物拠点化事業 187,450 千円
(うち拡充分 8,126 千円)

航空貨物拠点化に向けて、滑走路延伸を見据えた実績づくりのため、福岡県、苅田町と共同で、航空貨物の定期便の維持や誘致、集貨促進を図ります。

V-2・継続 北九州空港整備事業地元負担金 19,054 千円

国際貨物定期便の運航機材の大型化等に対応するため、エプロン（駐機場）整備に伴う照明工事等に関する地元負担を行います。

(将来像2) 北部九州の活発な交流を支える空港

国際線国内線の新規路線誘致、東京・名古屋路線の集客促進に積極的に取り組むとともに、空港アクセスの利便性を確保し空港の利用促進を図ります。

V-2・拡充 北九州空港路線誘致事業 190,520 千円
(うち拡充分 112,376 千円)

北九州空港に、新規の国際・国内定期便を誘致するために、チャーター便助成や新規路線の定着を図るための事業を実施します。

V-2・拡充 北九州空港利用促進・集客対策事業 38,280 千円
(うち拡充分 8,447 千円)

北九州空港に就航する路線の定着を図り、更なる路線ネットワークの充実を目指して、PR・集客活動を実施します。

V-2・新規 北九州空港インバウンド誘致強化事業 65,000 千円

アジアを中心とする旺盛な訪日需要を取り込むために、北九州空港を離発着する国際チャーター便を増加させるため、旅行社への助成を行います。

V-2・新規 北九州空港セールスプロモーション強化事業 74,600 千円

東京・名古屋路線の利用者増加を図り、路線ネットワークの拡充につなげるため、利用者・旅行社等へのセールスプロモーションの強化を行います。

V-2・新規 北九州空港開港 10 周年記念事業 9,230 千円

来年3月の北九州空港開港 10 周年を機に、更なる利用促進やにぎわいづくり・PRを図るための記念事業を実施します。

V-2・継続 北九州空港アクセス推進事業 227,600 千円

北九州空港へのアクセスの利便性向上のため、エアポートバスや乗合タクシーの運行助成を行います。

(将来像3) 航空機関連産業の拠点空港

北九州空港の活用を検討しているMRJの飛行試験施設の実現に向けて取り組むとともに、今後の航空機関連産業の集積に向けた取り組みを進めていきます。